

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011 年 12 月 24 日(土) 中村泰雄

日付: 2011 年 12 月 24 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



$365 \div 7 = 52 \cdots 1$

この式↑が現しているのは、平年では一年経つと曜日が一日先行すると云うことです。

去年は十二月二十五日が第四土曜日で福祉村で陸上競技のプログラムが有り、アスリートのM君が『メリー・クリスマス』と叫びながらミーティング会場に入って来ました。

今年は二十四日が第四土曜日です。クリスマス伊ブのプログラム。何か其の関係でと思い、クリスマスツリーで配布プリントを作りました。

但し、もみの木の梢に星を飾り、所々に雪を模した綿を散らし、サンタクロースや靴下を飾った当たり前のツリーでは面白くありません。オーストラリアとニュージーランドでクリスマスツリーと呼ばれている樹をテーマに選びました。

この二種類の樹は共にクリスマスの頃に花期を迎えるのでこの名が有るのですが、オーストラリアの樹は半乾燥地帯で黄色い花を咲かせ、ニュージーランドの樹は海岸で赤い花を咲かせます。

プリントでは花期を迎えたこの二種類の樹の画像を貼り付け、名前の由来や何やかや、例えばオーストラリア原住民のアボリジニーはこの木の根(正確には吸枝)を掘り出して食料にしているといった話を書いています。

前回に続いて福祉村の植物以外の話になってしまいましたが、ウォーキング中の植物観察には別の植物を用意しました。金柑です。ジョギングコースのスタート表示から二百メートル弱の地点、コースを挟んでログハウスと向かい合う地点で数本の樹が黄色く色付いた実を付けています。

例によって私はウォーキングの集団に先行して現地に向かいました。そしてログハウスの入り口近くのベンチに座って一行を待ちました。

前回は見事に無視されましたが今回は如何でしょう。と待つほどもなく一行が見えてきました。スタートして間もない集団は未だ一塊になっています。其の先頭付近でO君がニコニコ笑いながらこちらを見えています。

「此処に居ると思ってました」

O君の第一声です。ログハウスは読み筋だったようです。遠くからこっちを見ていたのも道理です。

集団をサイクリング・コース沿いにリードして私の第一声。

「ハイ、金柑です」

するとS君が私の顔を覗き込むようにしてこう云いました。

「黄色い……」

後半は良く聞き取れませんでした、どうも黄色く色付いた実が少ないのが不満のようです。これが良い切欠になりました。

「此処の実は黄色くなると何故か直ぐ消えてしまうのです。普通なら黄色い実がもっと沢山生っていて良い筈なんです……時々この辺に出没するレジ袋を持った小父さんや小母さんと関係有りそうなんです」

↑ 予ねて用意の台詞です。これにはファミリー、コーチばかりでなくアスリートも笑ってくれました。落とし話成功です。笑い顔が消えないうちに再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は二千メートルを走り、その後冒険広場に移動し、参加者に三上、阿部両コーチを加えた九人を三チームに分けて襷リレーの練習を兼ねた冒険広場周回リレーを2レース走りました。

未だ襷を片手にぶら下げて渡す子も居ますが、何処へ出しても恥ずかしくない受け渡しをするコンビも数組現れました。本番まであと三回のプログラムで何処まで伸びるか、楽しみも出てきました。

このあと一行は芝生広場の西端に戻り、大坂PCのリードで体操をして、十一時四十五分、今年最後の川口陸上プログラムを終了しました。良いお年をお迎え下さい。

中 村 泰 雄

注:一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。